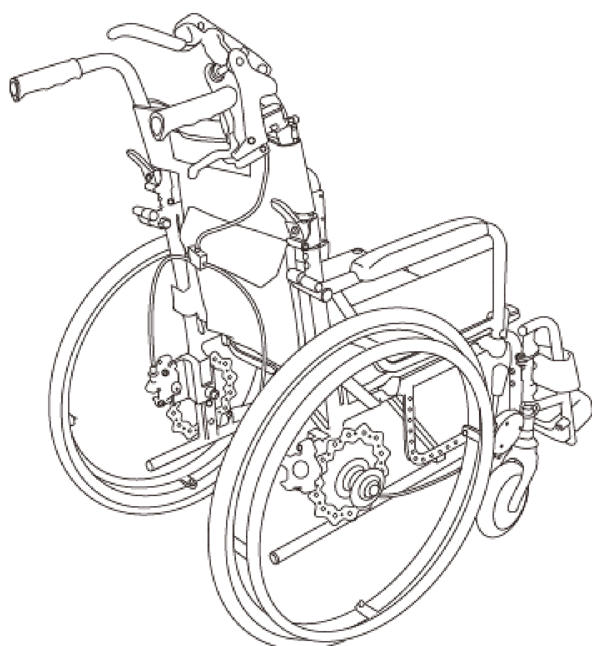
保管用
よくお読みください
保証書別途

取扱説明書

忘れ騎士（ナイト）2



● 目 次 ●

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます（http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm）。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご使用の際には必ず携帯していただき、必要なときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。



本取扱説明書は忘れ騎士（ナイト）2 を取り付けた車いすについての説明書となっており車いす本体の詳細取扱いについては車種別の取扱説明書をご覧下さい。

1．製品の特徴・使用目的

この製品は、車いすをご使用の際の駐車ブレーキのかけ忘れを防ぎ
安心して車いすをご使用していただくための商品です。

忘れ騎士(ナイト)2 には、
〇座面下センサー付き忘れ騎士(ナイト)2“ＷＤＳ２”（自走用）
〇座面下センサーなし忘れ騎士(ナイト)2“ＷＤ２”（介助用）
の二種類があり、
構成部品と基本機能に違いがあります。

ご使用方法を誤りますと、怪我をされたり、製品が破損する恐れがあります。
それぞれの特質を充分にご理解の上、安全で快適にご利用ください。
※座面下センサー付き忘れ騎士(ナイト)2“ＷＤＳ２”については、搭乗者の方が深く座った状態で座面下センサーが作動します。
前の方に座られたり、足こぎ等特殊なご使用をされる場合には販売店にご相談ください。

2．忘れ騎士(ナイト)2 付き車いすを安全にご使用するために

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[標示マークの説明]
※正しい取扱いに関する必要事項を標示(シンボルマーク)で表しています。

警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
注意	取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
禁止	してはいけないことを示しています。
必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

2．忘れ騎士（ナイト）2 付き車いすを安全にご使用するために

⚠ 警 告

必ず守る

●勝手に改造・分解しないでください。
破損・故障・オイルもれの原因となり、強度や耐久性が低下して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。

●本製品を火気に近付けないでください。

●急な坂道(勾配４度以上)では使用しないでください。

●押手レバーを握ったままで車いすを倒さないでください。

●ローターやキャリパーに注油しないでください。

●長時間車いすを横に倒したりしないでください。

●車いすを逆さにしないでください。
ブレーキが効かなくなり大変危険です。

禁止

●車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

●押手レバー、サイドレバーに荷物などを掛けないでください。
破損・故障などの原因となりブレーキが作動しなくなる場合があります。

●輸送時は付属のレバー固定ベルトでしっかりと押手レバーとブレーキレバーを握りこんだ状態を保ってください。

●長期ご使用にならない時も付属のレバー固定ベルトで押手レバーとブレーキレバーを握りこんで保管してください。

●タイヤをもって車輪を操作しないでください。
駐車ブレーキで指をはさむなど、大変危険です。

●ブレーキ作動時に後輪はロックされていても、前輪はロックされていません。
傾斜地で停車するときはキャスタが旋回して動く場合がありますので充分ご注意ください。

●押手レバーは作動方向以外に力を加えないでください。
また、必要以上に力を加えないでください。
ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

●油圧ホース・ワイヤーは傷つけたり、折り曲げたりしないでください。

●油圧ホース・ワイヤーを持って車いすを持ち上げないでください。
破損・故障・オイル漏れの原因になります。

●油圧ホース・ワイヤーを何かにひっかけないでください。
破損・故障の原因となります。
油圧ホース内にはオイルが入っており、オイル漏れの原因となります。
また油圧ホース・ワイヤーがフレームなどにひっかかっていないかも確認してお使いください。

2．忘れ騎士(ナイト)2 付き車いすを安全にご使用するために

⚠ 注 意	
 必ず守る	●押手レバーでブレーキ調整をする時に急ブレーキをかけないでください。 搭乗者が車いすから落下するなど大変危険です。  ●押手レバー部の開口部や隙間で指をはさまないよう注意してください。 ●介助者は、搭乗者が車いすに安全に座れていることを確認してから操作してください。 搭乗者の身体の一部または衣服がタイヤ、スポーク、キャスタ及び地面、建物、通行者に触れたりはさまったりしないようご注意ください。  ●車いすの機能と操作をよく理解し、慣れた状態でご利用ください。 ●部品等が破損したり損傷がある場合は、すぐに販売店にご相談ください。 ●認知症の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。 一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。  ●シートベルトが装備されている場合、シートベルトを必ず装着してください。 段差などで不意に衝撃などを受けると身体が投げ出されることがあり危険です。また、シートベルトを外したまま移動するとベルトが車輪にからまるなど危険です。  ●長期間ご使用されていない場合、油圧低下しブレーキの効きが甘くなっていることがあります。 再度ご使用頂く時には、数回押手レバーを動かしてからお使いください。  ●長期間の使用や使用頻度によっては、「忘れ騎士(ナイト)2」を構成する部品等が劣化することがあります。必ず使用前点検を行ってください。 異常がある場合は、使用を中止してください。  ●次のような場所では必ず介助者が付き添い、搭乗者の身体を支えるなど転倒防止に努めてください。 ・急な坂道・凹凸や段差のある場所・踏切の横断、エレベータの乗り降りなどの溝のある場所・その他危険が考えられる場所 ●搭乗者の身体の一部（手足等）及び衣服がタイヤに触れたり挟まったりしないように注意してください。 ●搭乗者の身体の一部、及び衣服が建物、通行者及び地面などに触れたり挟まったりしないように注意してください。

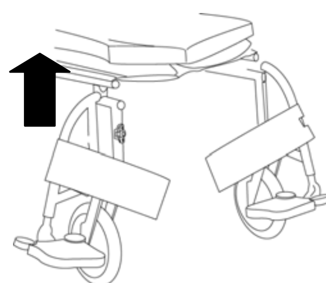
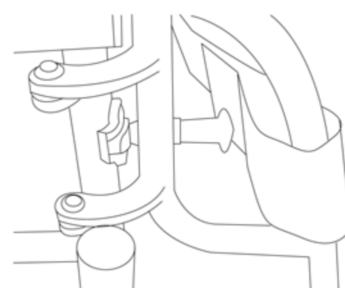
なお、この取扱説明書は、イラストや写真が一部実車と異なる場合があります。

2．忘れ騎士(ナイト)2 付き車いすを安全にご使用するために

機能付き車いすに取付けの場合

<table>
<tr><td colspan="2">⚠ 注 意</td></tr>
<tr><td>
必ず守る</td><td>
【背折れ式車いすの場合】
●背折れ金具を倒してユニットの一部がタイヤに当たったところで止めてください。
無理やりタイヤの内側に押し込むと、車いすを傷つけたり、故障の原因となります。


【アームレスト跳ね上げ式車いすの場合】
●右アームレストを跳ね上げる際はアームレストがユニットの一部に当たったところで止めてください。
無理やり跳ね上げると車いすを傷つけたり、故障の原因となります。

【脚部スイングアウト式車いすの場合】
●右の脚部をスイングアウトする際は、脚部が忘れ騎士(ナイト)2 のサイドレバーに当たったところで、それ以上回転させないでください。上方へ脱着してご使用ください。
無理やり回転すると、車いすを傷つけたり、故障の原因となります。

●脱着した脚部を戻す際はしっかり固定されていることを確認してください。
脚部のぐらつきを抑える為、脚部接続部分に樹脂のパッキンが入っております。差し込む際に固い場合がありますが、しっかりと押し込んでご使用ください。

</td></tr>
</table>

3．同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

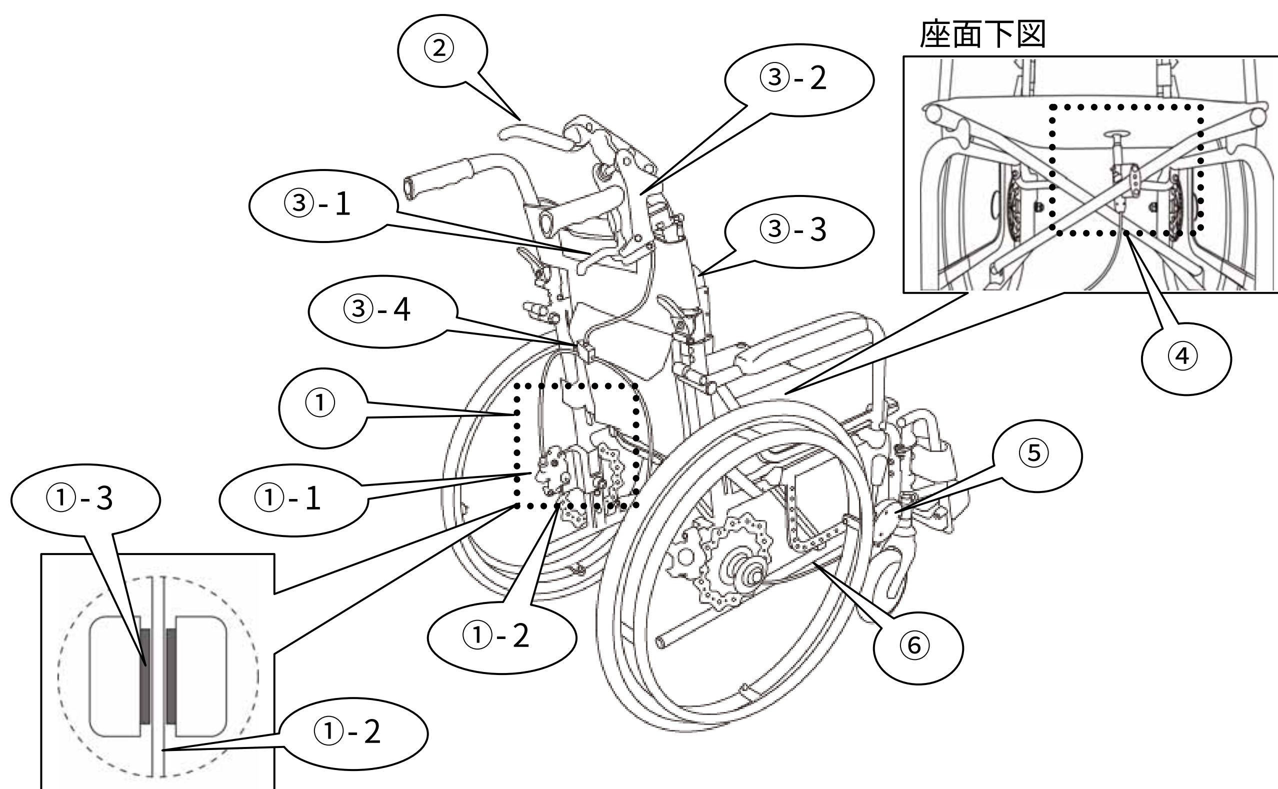
●取扱説明書　　1 式　　●固定ベルト　1 本

4. 各部名称

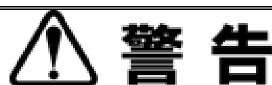
		標準装備 WDS2	WD2
①ディスクブレーキ	左右の車輪にディスクブレーキが取付いています。	●	●
①-1 キャリパー ①-2 ローター（円盤） ①-3 パッド	ローターをパッドで挟むとブレーキがかかるしくみです。		
②押手レバー	押手レバーの握り調整でブレーキ操作を行います。押手レバーを握っていない時はブレーキが常時効いています。	●	●
③油圧ユニット	左右均等にブレーキを利かせるための部品です。	●	●
③-1 ブレーキレバー	押手レバーを握っている状態でもブレーキレバーを引くとブレーキが効きます。	●	●
③-2 リザーバータンク	ブレーキフルード【DOT4】が入っています。油圧経路につながっていて油量を調整します。	●	●
③-3 油圧ホース（グレー）	油圧経路です。	●	●
③-4 油圧ホースコネクタ	油圧ホースを左右に分けます。	●	●
④座面下センサー	搭乗者が車いすに乗っているかどうかをセンサーが感知します。	●	
⑤サイドレバー	搭乗者がブレーキのロック、解除を操作するレバーです。 （左仕様と右仕様があります。）	● ●	
⑥ブレーキワイヤ（黒）	サイドブレーキを動かすためのものです。	●	

※WD2の駐車ブレーキはベースの車体に準じます。詳しくは車いす本体の取扱説明書をご確認ください。

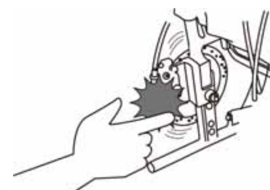
※背折れ式、アームレスト跳ね上げ式等、車いすの仕様によっては、可動部に忘れ騎士（ナイト）2が当たる場合がありますのでご注意ください。



5. ディスクブレーキのお取扱いについて



●回転中のローターには触れないで下さい。ローターに指が巻き込まれるなど、重症を負う恐れがあります。



●ローターにシートベルトや衣服を巻き込まないようにしてください。

●ローターに物をぶつけたり無理な力がかからないようにしてください。
ローターが変形すると車体が動かなくなったり異音がする場合があります。

●乗る前には必ず左右のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
車いすを倒立あるいは横にした場合リザーバータンク内の気泡がキャリパー（ブレーキパッド）方向に移動する恐れがあります。この状態で走行するとブレーキが効かなくなる恐れがあります。
倒立させたり横にした場合は乗車前に必ずブレーキレバーを握りブレーキが正常に作動することを確認してください。ブレーキが正常に作動しない場合は使用を中止し、販売店へご連絡下さい。

●ブレーキを連続してかけ続けるとパッドやローターがブレーキ操作により高温になる場合があります、乗車中、あるいは下車後すぐに触れないでください。やけどを負う恐れがあります。

●雨天時または路面がぬれていると、タイヤがスリップし易くなります。タイヤがスリップすると制動距離が長くなり危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。

●ローター等に油脂が付かないように注意してください。ブレーキが効かなくなって危険です。

●万一ブレーキフルードが漏れた場合はただちに使用を中止し、販売店にて適切な修理を行ってください。
液漏れの状態で乗り続けると突然ブレーキが効かなくなるなど大変危険です。

●ブレーキフルード【DOT4】の取扱いについては以下のことを守ってください。

・リザーバータンク、油圧ホース、油圧ホースコネクターの中にブレーキフルードが入っています。絶対に接合部分や蓋などを取り外したり、緩めたり、切断、加熱、溶接あるいは加圧しないでください。爆発あるいは引火の恐れがあります。

・ブレーキフルードが目に入ると炎症を起こす場合があります。
万一目に入った場合は真水で洗い流し、直ちに医師の手当てを受けてください。

・ブレーキフルードが皮膚に付くと炎症を起こす場合があります。
万一皮膚に付いた場合は石鹸水で充分に洗ってください。

・ブレーキフルードの蒸気を吸引すると気分が悪くなる場合があります。
万一鉱物油の蒸気を吸引した場合は直ちに屋外に移動し、身体を毛布等でくるんで保温し、安静にして、医師の手当てを受けてください。

●廃油については法令に定められた方法で処理してください。

5．ディスクブレーキのお取扱いについて



●ブレーキシステムの洗浄またはメンテナンスにはイソプロピルアルコール、石鹸水を使用するか空拭きを行ってください。市販のブレーキクレンザーあるいは、なき止め防止剤等は使用しないでください。シール等を損傷する恐れがあります。

●通常の使用において自然に生じた磨耗および品質の劣化は保証いたしません。

●ご使用になる前にブレーキ操作の練習をしてください。

●車輪を外す時は、必ず赤い押手レバーを握り、ブレーキを解除してから外してください。
ロック状態のまま外すと、オイルディスクブレーキが自動的に隙間を調整するように働くので、ローターがディスクパッドの間にはまらなくなり、車輪を取り付けることができなくなります。

6．ご使用になる前に

忘れ騎士（ナイト）2 付車いすをご使用する前に各部の点検を行ってください。
※車いす本体の点検については、車種別の取扱説明書をご覧ください。

標準装備	WDS2	WD2
・押手レバーを押し下げない状態でブレーキが効いていますか？	●	●
・押手レバーの操作でブレーキが効きますか？	●	●
・ブレーキが効いている状態で後車輪が回転しませんか？	●	●
・押手レバーを押し下げた状態でブレーキレバーを引くとブレーキが効きますか？	●	●
・後車輪を回転させた時に異音があったり異常な振れはありませんか？	●	●
・パッドに異物が付着していませんか?	●	●
・パッドの厚みが充分ありますか？ キャリパーの厚みが少なくなると金属の摩擦音（ガリガリ）がします。	●	●
・ローターに曲がり、変形はありませんか？	●	●
《全体的に》 ・車いすにガタつきはありませんか？ ・各部のボルトやナットが緩んでいませんか？ ・ブレーキワイヤが部品等に引っかかっていませんか？	●	●
・座面下センサーは稼動しますか？	●	ー
・車いすに座った状態でサイドレバーを前に倒した時に車輪ロック状態を解除できますか？ また、その状態からサイドレバーを後ろに倒した時に車輪ロック状態になりますか？	●	ー

※ローターとパッドから擦れる音がする、またその音に左右差がある場合がありますが、故障ではありません。
（ローターに曲がり、変形がある場合を除く。）

ご使用前に必ず動作確認を行ってください。

7. 操作方法

「忘れ騎士2」の操作方法については、まずは「車いす」の取扱説明書をお読みいただき理解していただいた上で「忘れ騎士2」の操作方法をご理解ください。

座面下センサー付き忘れ騎士2 “WDS2”

■介助者が操作する場合

停止

空車時

忘れ騎士2 付き車いすは通常、ディスクブレーキが効いた状態です。
車いすは動きません。

停止

搭乗者が乗り込みます。

座面下センサーにより人が乗ったことを感知します。
この時もディスクブレーキが効いた状態で車いすは動きません。

走行

介助者が押手レバーを押し下げます。

ディスクブレーキのロックが解除され走行が可能になります。
空車状態で車いすを移動させたい場合も同様です。

制動ブレーキ

ブレーキレバーを押し下げる、または押手レバーを緩めます。

・介助者が押手レバーを押し下げた状態でブレーキレバーを握ると制動します。
・また、押手レバーを徐々に緩めることで制動ブレーキとして使えます。
　この場合、ブレーキレバー操作は必要ありません。
※どちらか操作しやすい方法でお使いください。

⚠注 意	ディスクブレーキは従来のバンドブレーキよりも制動力が強いため、急ブレーキにならないよう充分ご注意ください。 特に搭乗者がいる場合には急ブレーキ操作は避けてください。

停止

●介助者が押手レバーを離す。

介助者が押手レバーを徐々に緩め、押手レバーから手を離すと停止します。

⚠警 告	押手レバーを急に離すと急ブレーキとなり危険です。特に搭乗者がいる場合は急ブレーキにより車いすから落下、転倒する恐れがあるため気を付けてください。

または、

●車いすから立ち上がります。

座面下センサーが反応し、ディスクブレーキがロックされます。

⚠注 意	立ち上がる際にハンドリムに手を置かないでください。サイドレバーが跳ね返り、手などに当たると大変危険です。

7．操作方法

座面下センサー付き忘れ騎士(ナイト)2 “ WDS2 ”

■搭乗者が操作する場合

停止

空車時

忘れ騎士(ナイト)2 付き車いすは通常、ディスクブレーキが効いた状態です。
車いすは動きません。

停止

搭乗者が乗り込みます。

座面下センサーが人の乗車を感知します。
この時もまだディスクブレーキが効いた状態で車いすは動きません。
車いすが停止した状態で安全に乗り込むことができます。

乗車時は深く座ってください。

座面下センサーは搭乗者が深く座った状態で乗車を感知します。
前の方に座られたり、足こぎ等でのご使用においては乗車を感知できない場合があります。

走行

サイドレバーを前に倒します。

ディスクブレーキのロックが解除され走行が可能になります。

レバーを前方へ操作しても、ロックが解除されない場合

・乗車をセンサーが感知していない事が考えられます。深く座り直してからレバー操作を行ってください。
・介助者が押手レバー（赤色）を握り走行や停止操作は行えます。

⚠注 意	**レバーを操作する際は、手を最後まで添えてゆっくりと操作してください。** **次のような場合、走行中にサイドレバーがロックされ、車いすが停止する場合があります。注意して走行してください。** ・路面の段差や振動によりロックする場合があります。 ・搭乗者の体が動くことによりセンサーが作動しロックする場合があります。 **シートベルトを必ず装着してください。**

7．操作方法

座面下センサー付き忘れ騎士（ナイト）2 “ WDS2 ”

■搭乗者が操作する場合

移動中の停止	
サイドレバーを後ろに押します。 ディスクブレーキがロックされます。	
⚠ 注 意	ディスクブレーキは従来のバンドブレーキよりも制動力が強いため、急ブレーキにならないよう充分ご注意ください。
停止	
車いすから立ち上がります。 座面下センサーが反応し、ディスクブレーキがロックされます。 車いすが停止した状態で安全に立ち上がることができます。	
⚠ 注 意	立ち上がる際にハンドリムに手を置かないでください。サイドレバーが跳ね返り、手などに当たると大変危険です。

7．操作方法

座面下センサーなし忘れ騎士（ナイト）2 “ＷＤ２”

■介助者のみが車いすを操作することができます。

停止

搭乗者がいない状態

忘れ騎士（ナイト）2 付き車いすは通常、ディスクブレーキが効いた状態です。
車いすは動きません。

停止

搭乗者が乗り込みます。

この時もディスクブレーキが効いた状態で車いすは動きません。
車いすが停止した状態で安全に乗り込むことができます。

走行

介助者が押手レバーを押し下げます。

ディスクブレーキのロックが解除され走行が可能になります。
空車状態で車いすを移動させたい場合も同様です。

制動ブレーキ

ブレーキレバーを押し下げる、または押手レバーを緩めます。

・介助者が押手レバーを押し下げた状態でブレーキレバーを握ると制動します。
・また、押手レバーを徐々に緩めることで制動ブレーキとして使えます。
　この場合、ブレーキレバー操作は必要ありません。
※どちらか操作しやすい方法でお使いください。

⚠注 意	ディスクブレーキは従来のバンドブレーキよりも制動力が強いため、急ブレーキにならないよう充分ご注意ください。特に搭乗者がいる場合には急ブレーキ操作は避けてください。

停止

介助者が押手レバーを離す。

押手レバーを徐々に緩め、押手レバーから手を離すと停止します。

⚠警 告	押手レバーを急に離すと急ブレーキとなり危険です。特に搭乗者がいる場合は急ブレーキにより車いすから落下、転倒する恐れがあるため気を付けてください。

8．ご使用上の注意

●操作方法を充分にご理解の上、ご使用ください。

●車いすがバランスを崩さない様、深く座ってください。
ご使用前には必ず座面下センサーの効きを確認してからご使用ください。

●押手レバーから手を離して停止するときは、徐々にレバーの握りを緩めてください。
（急に離すと急ブレーキとなり危険です。）

●停止するとき以外は走行中にサイドレバーを触れないようにしてください。

●走行中は身体を車いすから乗り出さないでください。車いすが不安定になり大変危険です。

●滑りやすい床面の場合や傾斜地では「忘れ騎士(ナイト)2」が作動して車輪がロックされていても車いすが動く場合があります。（床面の摩擦抵抗が低い場合など）充分ご注意ください。

●無理な操作をされると故障、破損の恐れがあります。
車輪がロックされている状態の時は、そのまま無理に動かさないでください。
（押手レバーを押し下げ、ブレーキを解除してから車いすを操行してください。）

●押手レバーには買い物袋などを絶対に掛けないでください。ブレーキが作動せず大変危険です。

●車いす以外の目的（踏み台代わり等）には絶対に使用しないでください。

●ローターとパッドから擦れる音がする場合がありますが、故障では
ありません。（ローターに曲がり、変形がある場合を除く。）

●定期的な点検をお願いいたします。（推奨：１ヵ月に１度は点検してください。）
・ローターに歪みや変形がないこと。
・パッドに異物が付着していないこと。・・・など

●制動力の低下など異常が見つかった場合はご使用を中止し、直ちに販売店へご連絡ください。
※ワイヤー調整等が必要な場合は必ず販売店にご連絡し、自分では修理しないでください。）

●ローターには絶対に油などを差さないでください。ブレーキがきかなくなり
大変危険です。

●長期間ご使用いただくと、以下の部品が消耗します。その時は交換が必要です。
（ご使用の頻度により部品の消耗、交換時期が変わります。）
・パッド・ローター・ブレーキフルード【DOT4】
・ブレーキワイヤ（アウター・インナー）※WDS2 のみ

●屋外に放置しないでください。ディスクブレーキなどが錆びる原因になります。

●改造及び分解は絶対にしないでください。強度、耐久性が著しく劣化し、大変危険です。

●油圧ホースに火を近づけたり、傷つけたりしないでください。故障の原因となります。

9．お手入れの方法

★金属部分（フレーム、車輪等）

フレームなどの金属部は、乾いた布でよく汚れを落として、自動車用のワックスをかけ、乾いた布で拭き取ってください。スポークの通常のお手入れは、水を用いずに汚れを落とす程度で充分です。凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

 **注 意**

●熱湯やオゾンで洗浄しないでください。
故障・変質・変色の原因となります。

●中性洗剤以外を使用しないでください。
中性洗剤以外を使用した場合変質・変色・傷みの原因となります。

●シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。

●たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。

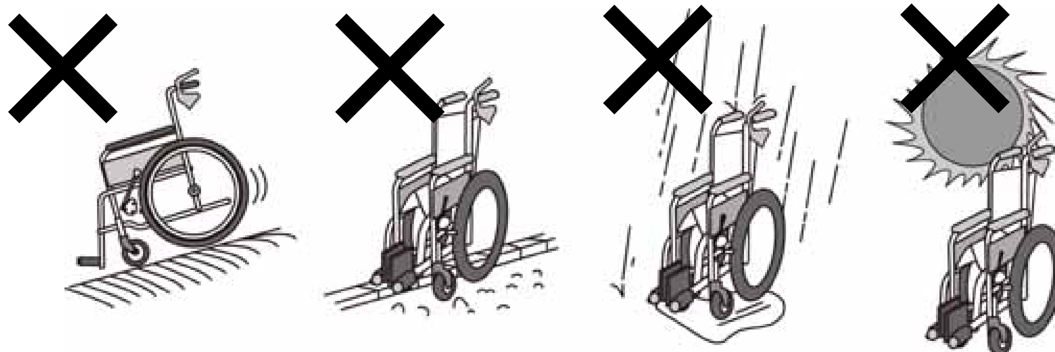
10．保管についてのお願い

車いすは、お手入れ後、安全な場所に立てた状態で保管してください。
横に倒して保管すると車輪やローターが曲がるなど故障の原因となります。

⚠注 意

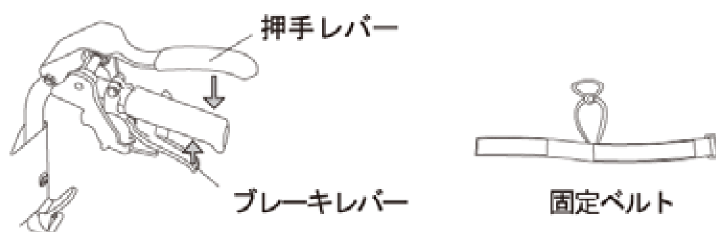
●下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。

- ・車道に近いところ
- ・路面に段差や凸凹のあるところ
- ・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
- ・非常口、消火器、消火栓の前
- ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
- ・子供がいたずらをする恐れのある場所
- ・人通りのあるところ
- ・湿気の多いところ
- ・雨、風のあたる場所
- ・直射日光の当たる場所（車内も含む）
- ・坂道
- ・暑い日や寒い日の戸外
- ・ほこりの多い場所



輸送時等や長期間使用しない時の保管方法について

輸送やメンテナンス等で車体が大きく揺れる可能性があるときは、固定ベルトを下記の手順で取り付けてください。

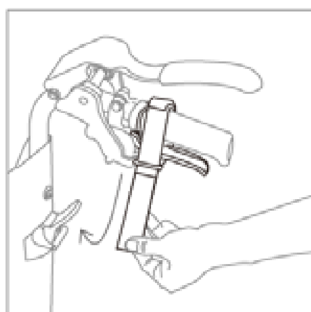


⚠注 意

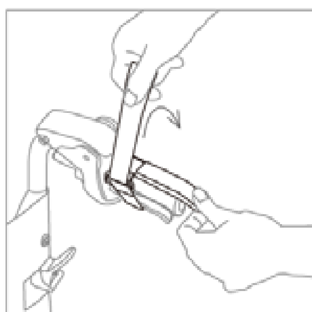
※固定ベルトを取付けずに車体が大きく揺れると故障の原因となることがあります。

※必ず押手レバーとブレーキレバー同時に固定してください。
押手レバーのみを固定して保管または移動しないでください。

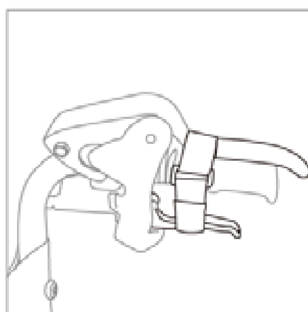
取付方法



①ブレーキレバーを巻き込み、ベルトをバックルに通します。



②バックルに通したベルトを上に上げながらブレーキレバーを引き上げ、その後押手レバーを握った状態でベルトをとめます。



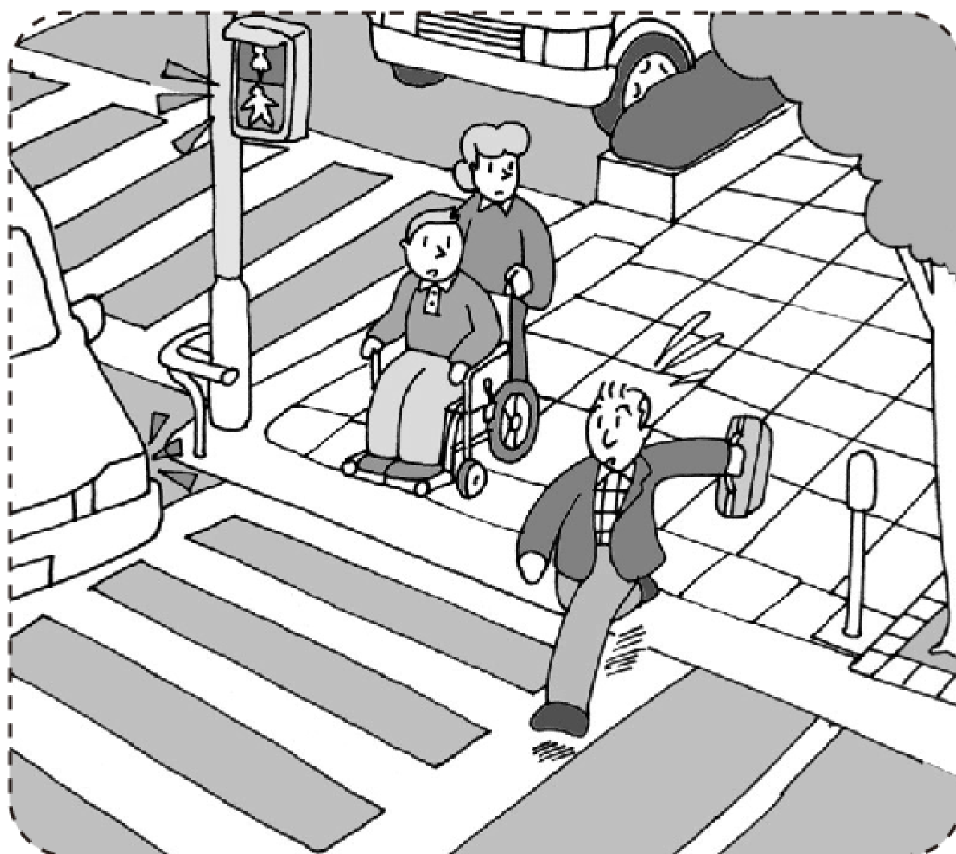
③ブレーキレバーと押手レバーが握られた状態で固定されていれば完了です。

11．車いすの主な乗り方

⚠ 警 告

●下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。
●いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
●車道はできるだけ通らず、歩道や充分な幅のある路側帯を通りましょう。

車いすは歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。



●「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。
●信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。
「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、走行を心掛けましょう。

⚠ 注 意

●車いすは乗り物ですので、定期点検が必要です。
長期の使用によって劣化が生じます。異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。

12．保証

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことを約束することです。

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。
返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。
※ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

★保証期間

お買い上げ日より 1 年間です。（消耗部品は含みません。）

★保証期間後

保証期間後はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★消耗部品

・ローター
・ブレーキフルード【DOT4】
・パッド
・ブレーキワイヤ（アウター・インナー）※WDS2 のみ

★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗および取扱不注意による破損
例）ディスクブレーキパッドの磨耗、ワイヤー（アウター・インナー）の破損等
（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
（ｄ）保全上の不備および弊社以外で行った修理や改造等による破損
（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
（ｆ）一般に車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
（ｇ）製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
（ｈ）取扱説明書に従わずに使用して生じた故障および破損
（ｉ）取扱説明書に禁じられてる使用方法によって生じた故障
（ｊ）ご購入後 1 ヶ月以内に返送用登録はがきをご返送いただいていない場合
（ｋ）日本国外でご使用の場合

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

メモ



株式会社カワムラサイクル





■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2-20-10	TEL06-6190-8488
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原1-18-3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場　■メンテナンスセンター

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2011.02 版